

2005/1/11

(株)インフォランド

中田 隆

1. はじめに

特に業務でパソコンを利用する場合、下記が大切である。

- ✓ パソコンが故障せず常に利用可能な状態にあること
- ✓ データが無くならないこと

本書ではパソコンのトラブルを減らすための”コツ”について説明する。

2. パソコンのモデル選択のコツ (業務用パソコンが家庭用パソコンに対して有利である)

業務用パソコンは家庭用パソコンに比べ安定している。

- ✓ 構造や組み立てがしっかりしており内部が衝撃などから保護されている。

業務用パソコンはケースや内部の構造がしっかり作られており、衝撃や変形に対して強い。このためハードディスクや電気回路に無理を与えることが少ない。家庭用パソコンはケースが弱いことが多い。

- ✓ 業界標準規格に基づく設計

業務用パソコンでは電気回路と BIOS と呼ばれる基本ソフトウェアが規格に従って作成されており、Windows や市販のソフトウェアとの整合性が高い。家庭用パソコンは独自機能の追加のために回路や BIOS に変更を加えたものが多い。その変更部分の信頼性が劣ることと、その変更部分が将来の Windows のバージョンアップに対応しないことが問題である。

- ✓ 必要なソフトのみ入っているパソコン

パソコンには Windows の他に、メーカーが各種のソフトを入れて販売している。特に家庭用パソコンには、利用実績の少ない不安定なソフトも多い。また役に立たないソフトも数多くある。この不安定なソフトや役に立たないソフトはパソコンを不安定にする。

3. 日々の利用でのコツ

3.1. 日々の利用

- ✓ 冬の寒いときは部屋が暖まり、パソコンも暖まってから利用する

ハードディスクの故障のピークは 1) 冬の寒い朝一番での利用開始時に動かなくなる。2) 梅雨時に結露によって故障する。の 2 回に集中する。特に 12 月から 2 月の朝一番での故障発生が極めて多い。この原因はハードディスクの利用可能温度は 10 から 50 で 10 を切ることがハードディスクに大きなストレスを与えるためである。また石油やガスストーブを利用しているとその水分で結露するために故障の原因になることも多い。

3.2. 周辺装置の選択と利用のコツ

- ✓ 内蔵の周辺装置のほうが外部接続の周辺装置より安定している

CD-R や MO などの高い信頼性の必要な記憶装置の場合、可能な限り内部搭載のものを利用する。特にハードディスクは極めて高い信頼性が必要なので外接機ものは利用すべきではない。コネクタの接触や電源の不安定さの問題などのために外部接続の装置の信頼性は高くない。

外部接続の周辺装置を利用する場合 USB など信号と電源のコネクタはしっかり接続する。またコネクタに斜め方向や抜ける方向の力が加わったりすることの無いように気を付ける。

- ✓ メジャーなメーカー製の周辺装置を選択する

周辺装置は低価格化のしわ寄せの一つとして、信頼性に配慮していないものや標準規格に配慮していない物が増えてきている。BUFFALO や IO データなど大手の物あるいはパソコンのメーカーと同じ物が比較的安心できる。標準規格に配慮していない物では Windows のバージョンアップによって利用できなくなる物が多い。

- ✓ USB 接続の周辺装置はインストール時に接続した USB のポートから動かさない

USB は接続コネクタに番号が振られており、別のコネクタに接続した場合、デバイスドライバの再インストールが必要になる。結果としてドライブ名やプリンター名が変わってしまったりする。インストール時から変えないように気をつけると安定して利用できる。

3.3. ソフトウェアの利用のコツ

- ✓ Windows XP と Office のアップデートはもれなくかけるよう定期的に確認する

セキュリティの向上や不具合の改善のためにアップデートは適時にかけるようにする。Windows XP の品質はアップデートにより飛躍的に向上しているのは事実である。なお、一部にアップデートにより不安定になるのではとの危惧をもたれる場合もあるが、今まではその問題は発生していない。

- ✓ 適切なファイアウォールの装備とワクチンソフト（ウイルスバスターなど）のインストール

外部からの攻撃から身を守るために適切な設定を行う。

- ✓ インターネットからのソフトや便利なツールのダウンロードに気をつける

スパイウェアやウイルスなどはインターネットから入ってくる。信用という面で評価の固まっているソフトのみ利用すると良い。

- ✓ メール取り扱いに気をつける

現在はメールの添付でウイルスやワームがやってくるのがほとんどである。怪しい発信者からのメールや怪しい添付ファイルは開かずに削除する。ワクチンソフトでウイルスメールを排除するように設定する。

- ✓ 会社で決められたソフトに統一する

可能な範囲でインストールするソフトは会社で統一するとよい。データの融通性が良いことや皆が同じソフトを利用することで習熟度が向上すること、さらに利用のノウハウが蓄積することで、生産性の向上に寄与する。

- ✓ 必要なソフトのみをインストールする。怪しいソフトは絶対にインストールしない。

パソコンの中をすっきりさせ不安定な要因を作らないあるいは入れないようにする。パソコンの回復に手間取るトラブルのほとんどが 1) 怪しいソフトが原因でおかしくなった。2) ウィルスやワームあるいはスパイウェアが入った。3) ハードディスクが故障した。のいずれかである。このうち 1)と 2)が無いように努める。